

水俣病患者の

コロニー設置

水俣市が県議会厚生労働委に請願

二十九日の県議会厚生労働委員
会に水俣市から水俣病患者など
を収容する国立重度身体障害児
(者)コロニーの設置を要望する
請願が出された。

水俣病患者の約三〇％は軽症
で、現在就業しているが、重症の
患者は肉親が常時付き添って介護
しなければならず、特に胎児性患
者は肉親の死後が心配されてい
る。

こうした重症患者を収容する施
設としてコロニーの建設が要望さ
れているもので、水俣市の選辺助
役はこの日の委員会で、重症水俣
病患者の介護の必要を訴えること
もに、「最近、交通事故や労働災
害など公害病以外でも運動機能障
害者が続出している。これらの機
能障害者に機能訓練を施し、社会
復帰をさせる施設が望まれる」と
述べ、ナースিংホーム、ひまわり
場、授産施設、更生授産施設など
を含めたコロニーの設置を要望し
た。

これに対し同委員会では、施設の
規模や敷き地などがまだ具体化し
ておらず、審理の手掛かりがつか
めないとして、県は水俣市との間
で、さらに問題を具体化させるよ
う県当局者に要請した。